

# 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況



上場会社名 株式会社日本触媒  
 コード番号 4114  
 代表者 代表取締役社長 近藤 忠夫  
 問合せ先責任者 総務部長 内海 勝議

平成20年2月8日  
 上場取引所 東証一部・大証一部  
 URL <http://www.shokubai.co.jp/>  
 TEL (06) 6223-9111

(百万円未満は四捨五入して表示しております。)

## 1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率を示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	223,260	14.5	14,562	3.5	16,993	2.4	11,067	2.6
19年3月期第3四半期	195,010	14.9	14,070	△23.5	16,594	△19.0	10,785	△19.8
19年3月期	266,513	14.7	19,429	△16.4	22,754	△13.0	13,988	△14.0

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	60 35	—
19年3月期第3四半期	57 63	—
19年3月期	74 92	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	345,469	180,399	51.0	963 43
19年3月期第3四半期	314,228	175,659	54.6	921 18
19年3月期	323,675	179,368	54.1	948 34

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	14,089	△18,591	17,994	30,398
19年3月期第3四半期	6,492	△17,936	7,187	15,650
19年3月期	16,087	△23,109	4,037	16,991

## 2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、対前年同期増減率を示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	303,000	13.7	20,400	5.0	22,400	△1.6	13,300	△4.9	72	58

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：有

(注)詳細は5ページの「4. その他」をご覧ください。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、連結業績に関する定性的な情報は、5ページをご参照ください。

## [定性的情報・財務諸表等]

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、原油をはじめとする資源の高騰や米国経済の減速懸念などの不安定要因はあったものの、企業収益の改善や堅調な設備投資により、景気が緩やかに回復するなかで推移しました。

化学工業界におきましては、国内外の需要は堅調なものの、原料価格の高騰や国際市況の動向など、先行きが不透明ななかで推移しました。

## (1) 全体の状況

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増 減		前 期
			(金額)	(伸び率)	
売上高	195,010	223,260	28,250	14.5%	266,513
営業利益	14,070	14,562	493	3.5%	19,429
経常利益	16,594	16,993	399	2.4%	22,754
四半期(当期)純利益	10,785	11,067	282	2.6%	13,988
1株当たり四半期(当期)純利益	57.63円	60.35円	2.72円	4.7%	74.92円
ROA(総資産経常利益率)	7.3%	6.8%	—	△0.5ポイント	7.4%
ROE(自己資本当期純利益率)	8.6%	8.4%	—	△0.2ポイント	8.2%
為替(\$、EUR)	\$=¥116.19 EUR=¥147.98	\$=¥117.35 EUR=¥162.85		¥1.16 ¥14.87	\$=¥117.00 EUR=¥150.08
ナフサ価格	50,300円/kl	60,000円/kl		9,700円/kl	50,000円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、機能性化学品を中心とした販売数量の拡大や、原料価格高騰に対応した製品価格の是正などにより、前第3四半期に比べて282億5千万円増収(14.5%)の2,232億6千万円となりました。

利益面につきましては、原料価格の高騰や昨年来実施してきた新增設に伴う固定費の増加があったものの、製品価格の是正や販売数量の拡大に努めたことにより、営業利益は前第3四半期に比べて4億9千3百万円増益(3.5%)の145億6千2百万円となりました。

経常利益は、前第3四半期に比べて、支払利息の増加等のため営業外損益が9千4百万円減益となったものの、営業利益の増益が大きかったことにより、3億9千9百万円増益(2.4%)の169億9千3百万円となりました。

四半期(当期)純利益は、事業整理(不飽和ポリエステル樹脂事業)に伴う特別損失があったものの、投資有価証券売却益もあったことにより、第3四半期純利益は、2億8千2百万円増益(2.6%)の110億6千7百万円となりました。

## (2) セグメント別の概況

## ◎事業の種類別

## [基礎化学品事業]

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、国内の需要が堅調に推移するなかで、販売価格の是正にも努めたことにより、増収となりました。

酸化エチレンおよび高級アルコール(商品名“ソフタノール”)は、需要が堅調に推移し、また、原料価格高騰に対応して販売価格を修正したことにより、増収となりました。

エチレングリコールは、市況が強含みに推移したことにより、増収となりました。

エタノールアミンは、海外向けの販売数量が減少したものの、市況が強含みに推移したことにより、増収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前第3四半期に比べて8.9%増加し、792億6千万円となりました。

営業利益は、原料価格の高騰や昨年実施した大型設備の増強に伴う固定費の増加があったものの、販売数量の拡大を進め、販売価格の是正にも努めたことにより、前第3四半期に比べて9.5%増加し、43億5千8百万円となりました。

## [機能性化学品事業]

高吸水性樹脂は、世界的に需要が拡大するなかで、中近東、欧州、中南米向けを中心に販売数量を増加させ、また販売価格も是正したことにより、増収となりました。

無水マレイン酸は、原料価格高騰のもと、販売価格を修正したことにより、増収となりました。

洗剤原料および樹脂改質剤は、国内の需要が順調に推移したことにより、増収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマーは、海外の需要が順調に推移したことにより、増収となりました。

特殊エステルは、国内外の需要が順調に推移し、また、原料価格高騰のなかで、販売価格を修正したことにより、増収となりました。

電子情報材料は、新規製品を中心に販売数量を伸ばしたことにより、増収となりました。

粘接着剤・塗料用樹脂、粘着加工品およびよう素化合物は、ほぼ前第3四半期並みに推移しました。

不飽和ポリエステル樹脂は、2007年9月末をもって生産・販売を終了したため、減収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前第3四半期に比べて13.6%増加し、1,169億3千1百万円となり

ました。

営業利益は、昨年来実施してきた新增設に伴う固定費の増加を販売数量の拡大でカバーし、原料価格高騰に対応した販売価格の是正にも努めたことにより、前第3四半期に比べて2.3%増加し、81億9千8百万円となりました。

#### [環境・触媒事業]

自動車触媒は、販売数量を増加させ、また、貴金属価格の高騰を受けて販売価格が上昇したことにより、増収となりました。

プロセス触媒は、海外の取替需要が集中したことにより、増収となりました。

脱硝触媒、排ガス処理装置および触媒は、ほぼ前第3四半期並みに推移しました。

排水処理装置および触媒は、前第3四半期にあった大型装置の販売がなくなったため、減収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前第3四半期に比べて40.1%増加し、270億6千9百万円となりました。

営業利益は、原料高と販売構成により、前第3四半期並みの19億1千6百万円となりました。

### ◎所在地別

#### [日本]

高吸水性樹脂、アクリル酸およびアクリル酸エステルが堅調に推移し、電子情報材料等の機能性化学品やプロセス触媒も販売数量を伸ばしました。また、全般的な原料価格高騰に対応した製品価格の是正に努めたことにより、売上高は前第3四半期に比べて16.1%増加し、1,579億2千5百万円となりました。

営業利益は、原料価格の高騰や昨年来実施してきた設備増強に伴う固定費の増加があったものの、主に機能性化学品を中心とした販売数量の拡大と、全般的な製品価格の是正に努めたことにより、前第3四半期に比べて5.8%増加し、130億1千6百万円となりました。

#### [欧州]

高吸水性樹脂の販売数量の拡大や原料価格高騰に対応した販売価格の是正に努めたことにより、売上高は前第3四半期に比べて37.1%増加し、316億9千7百万円となりました。

営業利益は、原料価格の高騰や昨年実施した設備増強に伴う固定費の増加があったものの、製品価格の是正や販売数量の拡大に努めたことにより、前第3四半期に比べて8千1百万円増加し、1億6千3百万円となりました。

#### [アジア]

高吸水性樹脂は、販売数量を伸ばし、また原料価格高騰に対応した販売価格の是正に努めたことにより増収となりました。しかしながら、アクリル酸およびアクリル酸エステルの販売数量減少の影響が大きかったため、売上高は前第3四半期に比べて6.3%減少し、211億6千万円となりました。

営業利益は、アクリル酸およびアクリル酸エステルの販売数量の減少に加え、原料価格の高騰が響き、減益となったものの、高吸水性樹脂の収益が改善したことにより、前第3四半期に比べて14.2%増加し、4億6千8百万円となりました。

#### [その他の地域]

コンクリート混和剤用ポリマーは販売数量を伸ばしたものの、高吸水性樹脂や洗剤原料等の販売数量減少の影響が大きかったため、売上高は、前第3四半期に比べて5.8%減少し、124億7千8百万円となりました。

営業利益は、コンクリート混和剤用ポリマーの増販効果があったものの、高吸水性樹脂の販売数量減少および販売価格と原料価格のスプレッド縮小の影響が大きかったため、前第3四半期に比べて2億7千5百万円減少し、3億7千万円の赤字となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前第3四半期末に比べて312億4千1百万円増加の3,454億6千9百万円となりました。主に、現預金、売上債権、たな卸資産の増加によるものです。

負債は、前第3四半期末に比べて265億1百万円増加の1,650億7千万円となりました。主に、社債・借入や仕入債務の増加によるものです。

純資産は、前第3四半期末に比べて47億4千万円増加の1,803億9千9百万円となりました。主に、利益剰余金の増加によるものです。

自己資本比率は、前第3四半期末の54.6%から3.6ポイント減少し、51.0%となりました。なお、1株あたり純資産額は、前第3四半期末に比べて42.25円増加の963.43円となりました。

**(2) キャッシュ・フローの状況**

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、社債発行等の財務活動によるキャッシュ・フローおよび営業活動によるキャッシュ・フローの収入が、設備投資等による投資活動のキャッシュ・フローを上回ったため、前期末に比べて134億6百万円増加の303億9千8百万円となりました。

**(営業活動によるキャッシュ・フロー)**

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期の64億9千2百万円の収入に対し、140億8千9百万円の収入となりました。減価償却費の増加や売上債権の回収が進んだことなどによるものです。

**(投資活動によるキャッシュ・フロー)**

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期の179億3千6百万円の支出に対し、185億9千1百万円の支出となりました。有形固定資産の取得による支出は減少しましたが、投資有価証券の取得による支出が増加したことなどによるものです。

**(財務活動によるキャッシュ・フロー)**

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期の71億8千7百万円の収入に対し、179億9千4百万円の収入となりました。将来の設備投資およびM&Aの支払いに備えるため、先行して社債発行等による資金調達を行ったことなどによるものです。

**3. 連結業績予想に関する定性的情報**

当第3四半期の連結業績は概ね順調に推移しており、自己株式の取得によって変動する1株当たり当期純利益を除いて、通期の連結業績予想は、中間決算発表（平成19年11月6日）時点での予想を変更していません。

**4. その他****(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）**

該当事項はありません。

**(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用**

法人税等の計上は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。また、引当金の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。

**(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更および追加情報****① 会計処理方法の変更**

法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正法人税法の規定する償却方法により減価償却費を計上しております。

**② 追加情報**

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち、償却可能限度額まで減価償却が終了しているものについては、残存簿価を5年間で均等償却しております。

[添付資料]

## 1. 第3四半期連結財務諸表等

## (1) 要約連結貸借対照表

(単位 金額：百万円 構成比：%)

科 目	前第3四半期末 (H18.12.31)		当第3四半期末 (H19.12.31)		増 減	前連結会計年度末 (H19.3.31)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
[資産の部]							
<流動資産>	<139,268>	44.3	<171,448>	49.6	<32,179>	<145,444>	44.9
現金及び預金	15,814		30,613		14,798	17,156	
受取手形及び売掛金	70,612		79,091		8,479	71,002	
たな卸資産	42,509		50,237		7,728	45,941	
その他	10,333		11,507		1,174	11,346	
<固定資産>	<174,960>	55.7	<174,021>	50.4	<△938>	<178,230>	55.1
有形固定資産	114,747		117,128		2,381	117,647	
無形固定資産	2,184		1,638		△545	2,065	
投資その他の資産	58,029		55,255		△2,774	58,518	
資産合計	314,228	100.0	345,469	100.0	31,241	323,675	100.0
[負債の部]							
<流動負債>	<91,945>	29.3	<105,986>	30.7	<14,042>	<99,785>	30.8
支払手形及び買掛金	50,878		58,474		7,597	54,459	
短期借入金	18,000		23,427		5,427	18,177	
1年内に返済する 長期借入金	5,493		7,188		1,695	5,887	
その他	17,574		16,897		△677	21,261	
<固定負債>	<46,624>	14.8	<59,083>	17.1	<12,460>	<44,522>	13.8
社債	5,000		20,000		15,000	5,000	
長期借入金	30,079		30,117		38	28,668	
その他	11,545		8,966		△2,579	10,854	
負債合計	138,569	44.1	165,070	47.8	26,501	144,307	44.6
[純資産の部]							
<株主資本>	<159,136>	50.7	<166,192>	48.1	<7,056>	<160,367>	49.6
資本金	16,529		16,529		—	16,529	
資本剰余金	13,567		13,567		0	13,567	
利益剰余金	137,146		148,147		11,001	140,350	
自己株式	△8,106		△12,052		△3,945	△10,080	
<評価・換算差額等>	<12,300>	3.9	<9,926>	2.9	<△2,375>	<14,687>	4.5
その他有価証券 評価差額金	9,130		6,384		△2,747	10,686	
繰延ヘッジ損益	—		△6		△6	—	
為替換算調整勘定	3,170		3,548		378	4,000	
<少数株主持分>	<4,223>	1.3	<4,282>	1.2	<59>	<4,314>	1.3
純資産合計	175,659	55.9	180,399	52.2	4,740	179,368	55.4
負債及び純資産合計	314,228	100.0	345,469	100.0	31,241	323,675	100.0

## (2) 要約連結損益計算書

(単位 金額：百万円 百分比：%)

科 目	期 別		当第3四半期 (H19. 4. 1~H19. 12. 31)		増 減	前連結会計年度 (H18. 4. 1~H19. 3. 31)	
	前第3四半期 (H18. 4. 1~H18. 12. 31)		金 額	百分比		金 額	百分比
売上高	195,010	100.0	223,260	100.0	28,250	266,513	100.0
売上原価	155,888	79.9	181,793	81.4	25,905	212,468	79.7
売上総利益	39,122	20.1	41,467	18.6	2,345	54,045	20.3
販売費及び一般管理費	25,052	12.9	26,905	12.1	1,853	34,616	13.0
営業利益	14,070	7.2	14,562	6.5	493	19,429	7.3
営業外収益	4,055	2.1	4,662	2.1	607	5,719	2.1
営業外費用	1,531	0.8	2,232	1.0	701	2,394	0.9
経常利益	16,594	8.5	16,993	7.6	399	22,754	8.5
特別利益	—	—	328	0.1	328	—	—
特別損失	—	—	296	0.1	296	452	0.1
税金等調整前四半期(当期)純利益	16,594	8.5	17,025	7.6	431	22,302	8.4
法人税等	5,694	2.9	5,873	2.6	179	8,136	3.1
少数株主利益	116	0.1	86	0.0	△30	178	0.1
四半期(当期)純利益	10,785	5.5	11,067	5.0	282	13,988	5.2

## (3) 要約連結株主資本等変動計算書

前第3四半期(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成18年3月31日残高	16,529	13,565	125,684	△5,346	150,432	12,259	1,939	14,199	4,073	168,704	
当第3四半期中の 変動額											
剰余金の配当	—	—	△3,092	—	△3,092	—	—	—	—	△3,092	
四半期純利益	—	—	10,785	—	10,785	—	—	—	—	10,785	
自己株式の取得	—	—	—	△2,763	△2,763	—	—	—	—	△2,763	
自己株式の処分	—	1	—	3	4	—	—	—	—	4	
持分法適用関連会社 の増加	—	—	3,771	—	3,771	—	—	—	—	3,771	
株主資本以外の項目の 当第3四半期中の変動 額(純額)	—	—	—	—	—	△3,129	1,231	△1,898	149	△1,749	
当第3四半期中の 変動額合計	—	1	11,463	△2,760	8,704	△3,129	1,231	△1,898	149	6,955	
平成18年12月31日残高	16,529	13,567	137,146	△8,106	159,136	9,130	3,170	12,300	4,223	175,659	

当第3四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	16,529	13,567	140,350	△10,080	160,367	10,686	—	4,000	14,687	4,314	179,368
当第3四半期中の 変動額											
剰余金の配当	—	—	△2,941	—	△2,941	—	—	—	—	—	△2,941
四半期純利益	—	—	11,067	—	11,067	—	—	—	—	—	11,067
自己株式の取得	—	—	—	△1,975	△1,975	—	—	—	—	—	△1,975
自己株式の処分	—	0	—	3	3	—	—	—	—	—	3
持分法適用関連会社 の減少	—	—	△329	—	△329	—	—	—	—	—	△329
株主資本以外の項目の 当第3四半期中の変動 額(純額)	—	—	—	—	—	△4,303	△6	△452	△4,761	△33	△4,793
当第3四半期中の 変動額合計	—	0	7,797	△1,972	5,825	△4,303	△6	△452	△4,761	△33	1,032
平成19年12月31日残高	16,529	13,567	148,147	△12,052	166,192	6,384	△6	3,548	9,926	4,282	180,399

前連結会計年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成18年3月31日残高	16,529	13,565	125,684	△5,346	150,432	12,259	1,939	14,199	4,073	168,704	
連結会計年度中の 変動額											
剰余金の配当	—	—	△3,092	—	△3,092	—	—	—	—	△3,092	
当期純利益	—	—	13,988	—	13,988	—	—	—	—	13,988	
自己株式の取得	—	—	—	△4,737	△4,737	—	—	—	—	△4,737	
自己株式の処分	—	1	—	4	5	—	—	—	—	5	
持分法適用関連会社 の増加	—	—	3,771	—	3,771	—	—	—	—	3,771	
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の 変動額(純額)	—	—	—	—	—	△1,573	2,061	488	241	729	
連結会計年度中の 変動額合計	—	1	14,667	△4,733	9,935	△1,573	2,061	488	241	10,664	
平成19年3月31日残高	16,529	13,567	140,350	△10,080	160,367	10,686	4,000	14,687	4,314	179,368	

## (4) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期 (H18. 4. 1~H18. 12. 31)	当第3四半期 (H19. 4. 1~H19. 12. 31)	増 減	前連結会計年度 (H18. 4. 1~H19. 3. 31)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー					
税金等調整前四半期（当期）純利益		16,594	17,025	431	22,302
減価償却費		8,445	13,090	4,645	12,951
売上債権の減少額又は増加額（△）		△12,963	△8,104	4,859	△13,146
たな卸資産の減少額又は増加額（△）		△3,502	△4,205	△703	△6,666
仕入債務の増加額又は減少額（△）		10,298	3,892	△6,406	13,492
その他の		△5,084	△1,704	3,380	△5,461
小計		13,789	19,995	6,206	23,473
法人税等の支払額		△8,254	△6,836	1,419	△8,396
その他の		957	930	△27	1,011
営業活動によるキャッシュ・フロー		6,492	14,089	7,598	16,087
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー					
有形固定資産の取得による支出		△17,066	△15,740	1,326	△22,527
投資有価証券の取得による支出		△1,386	△3,557	△2,171	△1,437
出資金の出資等による支出		△409	△531	△123	△413
出資金の回収等による収入		330	260	△70	334
貸付けによる支出		△50	—	50	△110
貸付金の回収による収入		845	789	△57	1,191
その他の		△200	189	390	△147
投資活動によるキャッシュ・フロー		△17,936	△18,591	△655	△23,109
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー					
短期借入金の純増減額		6,444	5,285	△1,160	6,546
社債の発行による収入		—	15,000	15,000	—
長期借入れによる収入		10,600	7,081	△3,519	10,700
長期借入金の返済による支出		△3,992	△4,442	△450	△5,370
配当金の支払額		△3,092	△2,941	151	△3,092
自己株式の取得による支出		△2,763	△1,975	788	△4,737
その他の		△11	△14	△3	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー		7,187	17,994	10,807	4,037
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		52	△86	△138	119
V. 現金及び現金同等物の増減額		△4,206	13,406	17,613	△2,865
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		19,856	16,991	△2,865	19,856
VII. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		15,650	30,398	14,748	16,991

## 2. セグメント情報

### (1) 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期（平成18年4月1日～平成18年12月31日）（単位：百万円）

	基礎 化学品	機能性 化学品	環境・ 触媒	合計	消去又 は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	72,771	102,914	19,325	195,010	—	195,010
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,392	601	1,489	17,481	(17,481)	—
計	88,163	103,515	20,814	212,492	(17,481)	195,010
営業費用	84,184	95,503	18,873	198,561	(17,620)	180,940
営業利益	3,979	8,012	1,940	13,931	139	14,070

当第3四半期（平成19年4月1日～平成19年12月31日）（単位：百万円）

	基礎 化学品	機能性 化学品	環境・ 触媒	合計	消去又 は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	79,260	116,931	27,069	223,260	—	223,260
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,459	933	586	25,978	(25,978)	—
計	103,719	117,864	27,655	249,238	(25,978)	223,260
営業費用	99,360	109,666	25,739	234,766	(26,068)	208,698
営業利益	4,358	8,198	1,916	14,473	90	14,562

前連結会計年度（平成18年4月1日～平成19年3月31日）（単位：百万円）

	基礎 化学品	機能性 化学品	環境・ 触媒	合計	消去又 は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	97,665	141,321	27,526	266,513	—	266,513
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,672	854	1,800	24,326	(24,326)	—
計	119,337	142,175	29,326	290,839	(24,326)	266,513
営業費用	113,938	131,337	26,344	271,620	(24,536)	247,084
営業利益	5,399	10,838	2,982	19,219	210	19,429

(注) 1. 事業区分は、事業の種類・性質の類似性等を勘案して決定しております。

#### 2. 各事業区分の主な製品

- (1)基礎化学品事業 アクリル酸、アクリル酸エステル、酸化エチレン、エチレングリコール、エタノールアミン、高級アルコール
- (2)機能性化学品事業 高吸水性樹脂、医薬中間原料、コンクリート混和剤用ポリマー、電子情報材料、よう素、無水マレイン酸、不飽和ポリエステル樹脂、粘接着剤・塗料用樹脂、樹脂成形品、粘着加工品
- (3)環境・触媒事業 自動車触媒、脱硝触媒、ダイオキシン類分解触媒、プロセス触媒、排ガス処理装置

## (2) 所在地別セグメント情報

前第3四半期(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	合計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	136,053	23,126	22,586	13,246	195,010	—	195,010
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	15,575	54	590	43	16,262	(16,262)	—
計	151,628	23,180	23,176	13,289	211,272	(16,262)	195,010
営業費用	139,327	23,098	22,765	13,384	198,576	(17,635)	180,940
営業利益又は営業損失(△)	12,300	82	410	△96	12,697	1,373	14,070

当第3四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	合計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	157,925	31,697	21,160	12,478	223,260	—	223,260
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	25,240	60	2,556	227	28,082	(28,082)	—
計	183,165	31,757	23,716	12,705	251,342	(28,082)	223,260
営業費用	170,149	31,594	23,247	13,075	238,065	(29,367)	208,698
営業利益又は営業損失(△)	13,016	163	468	△370	13,277	1,285	14,562

前連結会計年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	合計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	186,288	32,521	30,194	17,510	266,513	—	266,513
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	21,979	71	1,219	493	23,761	(23,761)	—
計	208,267	32,592	31,413	18,002	290,274	(23,761)	266,513
営業費用	190,966	32,522	30,549	18,287	272,325	(25,241)	247,084
営業利益又は営業損失(△)	17,301	70	864	△285	17,949	1,480	19,429

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1) 欧州 ……………ベルギー  
 (2) アジア ……………シンガポール、インドネシア、中国  
 (3) その他の地域 北米…………米国

## (3) 海外売上高

前第3四半期(平成18年4月1日～平成18年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	37,015	30,052	16,926	6,832	90,826
II 連結売上高					195,010
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	19.0%	15.4%	8.7%	3.5%	46.6%

当第3四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	41,500	35,820	18,316	11,863	107,499
II 連結売上高					223,260
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	18.6%	16.0%	8.2%	5.3%	48.1%

前連結会計年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日) (単位:百万円)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	51,847	41,654	23,184	9,628	126,313
II 連結売上高					266,513
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	19.5%	15.6%	8.7%	3.6%	47.4%

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア 東アジア及び東南アジア諸国

(2) 欧州 ヨーロッパ諸国

(3) 北米 北アメリカ諸国

(4) その他の地域 アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。